

## 【 職業体験に参加した青少年の親御さんからのお礼文 】

2023年11月10日（金）

夜分遅くにすみません。

夜中ですね。この時間にならないとゆっくりないため申し訳ありません。

先日、お世話になった〇〇〇の母です。

名刺をいただいたので、ご連絡させていただきました。

先日はものすごく楽しかったと嬉しそうに話してくれました。

コロナ過により学校が休校になって、気持ちまで不安定になり不登校になりました。

それまでは、友達もいて走り回っているような子でした。

中学校にも行けず、なんとか今の学校に通えるようにまでなり、ほんのここ数カ月で弁護士を目指そうかなと言って全日制の学校に行くために独学で3年分の勉強を頑張っています。集団行動をしてこなかったのもあり、学校に行けるかも分からずで、特進は受かってもついていけないかもと、とりあえず総合進学科という普通に勉強するところへ入って、大学進学の勉強は自分で頑張ると言っております。

私に経済力がないため、大学からは自分で頑張ってもらわないといけないので、予備試験も考えているみたいです。

子どもにそんなことまで考えさせて申し訳ない気持ちでいっぱいですが…

と、こんなに話したら本人が嫌がるかもしれませんが。

今真剣に目指しているので、普段接する機会のない弁護士さんと話せたことはとても感動したみたいです。ずっと弁護士さんに聞きたかったことや、行きたかった裁判傍聴（私は分からなくて連れていけませんでしたが）まで行けて、感動していました。

傍聴は1人でも行けそうと言っています。

いただいた判例六法も暇があれば読んでいます。

このままこの気持ちで目標達成してくれることを願うばかりです。

本当にありがとうございました。